

読み書きに苦戦する子どもたちのために ～ディスレクシアと合理的配慮～

0 はじめに

■1 こんな子どもはいませんか？

漢字や英単語を何度書いても覚えられない。

教科書等の文章を読むのが苦手で時間がかかる。

■2 ディスレクシアの当事者から

(小学校2年の国語の授業で)40分ちょっとかけて、読めたのは3行と3分の1、4行目を一生懸命指で押して読んでいました。

先生が「神山君、まだこんな所？」って言ったんですね。周囲の友達が一齐に僕のほうを見て、「嘘だろ、お前、本当にやる気あるんか？」とか、「お前はバカやな」とか言われてつらかったです。

縦書きが本当に苦手で、今でもだめです。…小学校の高学年から、寝る前に、「明日、朝起きたら目が縦に並んでくれないかな」と思って寝ていました。

高校まではいきましたが、すごく勉強もできないことで、つらい日々で…自分は非行に走りました。…自己有用感とか自尊心が全くなかったので、やたらケンカばかりしていました。

これではいけないと、自分をたたき直そうと、高校を卒業し、自衛隊の道を選びました。すると文章が少ない教育を受けて初めて、それがすごく自分には合っていて、「見て盗め！」というのが自分にはピッタリで、…自衛隊で自信を取り戻せて。

自分が勉強のできない子の気持ちの分かる教師になったり、適切な支援ができるよう頑張れば、自分みたいな子をつくらなくていいかなと、夜間の短大に、自衛隊に行きながら通わせてもらって、今に至っています。夜間の短大では文章が多くつらかったのですが、写真と録音の形で講義を記録して、単位を取っていきました。

(DINF 障害保健福祉研究情報システム ウェブページ 『ディスレクシアとマルチメディアDAISY-当事者そして教育者の立場から-』岐阜県立関特別支援学校 教諭(当時)神山 忠)

■3 問題提起

「読み書き」に困難を抱える児童生徒は、本来ある可能性を伸ばせず、不当に低い評価を受けている可能性があります。そして、外見上その困難が目立たないことから、適切な支援を受けていない可能性があります。

「ディスレクシア」の特徴を理解し、その支援方法を日々の授業に取り入れることにより、通常学級に在籍する「読み書き」に困難を抱える子どもの学びやすさを改善することが期待できるのではないのでしょうか。

1 ディスレクシアとは

■ 1 定義

DYS (できない)

LEXIA (読む)

◎ ギリシャ語由来の医学用語。学習障害 (LD) の中核症状。

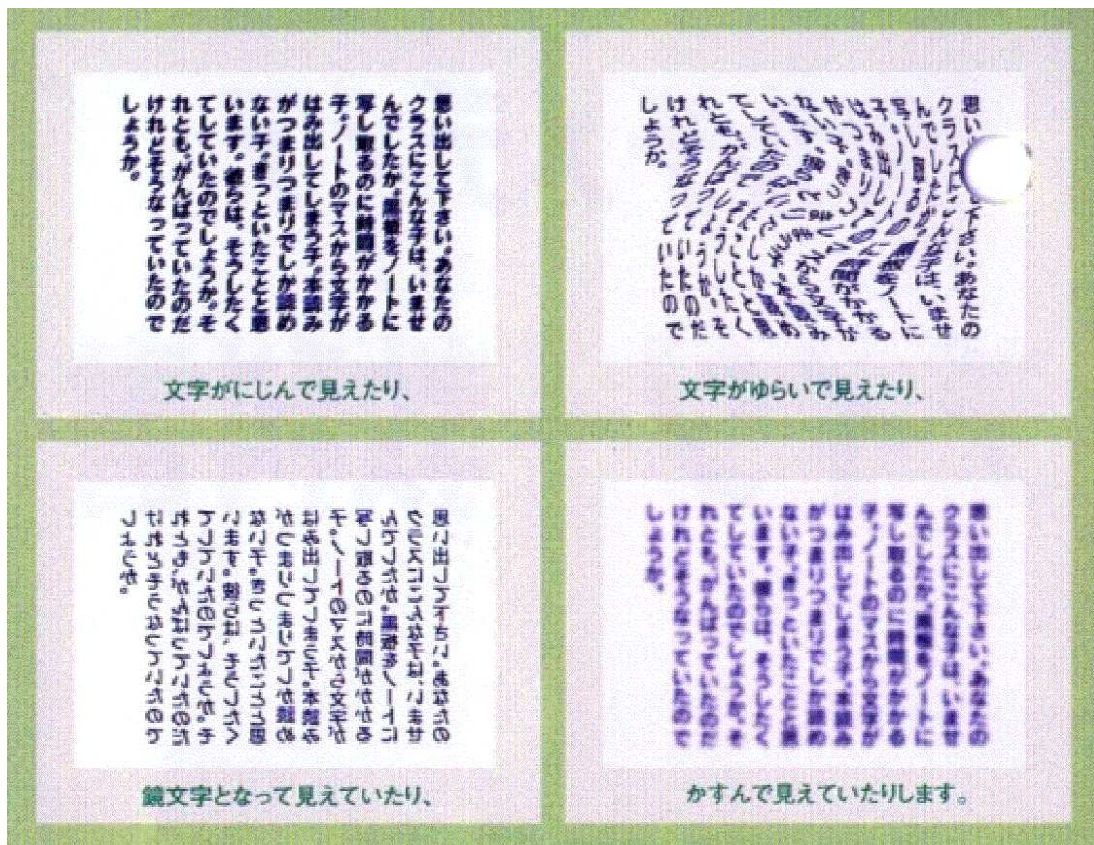
■ 2 出現率

文科省調査 (2012年) によれば、通常学級に在籍する児童生徒の 4.5% がLDの可能性があるといます。これは1学級に1人程度の割合になります。そのうち相当数がディスレクシアの可能性があると考えられています。

■ 3 特徴

(1) 視覚認知の困難

文字を認識することが困難です。例えば、浮かんだり、にじんだり、ゆらいたり、動いたりして見えます。鏡文字になって見えたりもします。



(2) 音韻性の困難

音と記号である文字とを結び付け操作する力が弱いと言われ、音読で顕著に特徴が出ます。例えば、読み方がたどたどしかったり、読み違えが目立ったり、単語でないと区切ってしまったりします。

(3) 文章を理解する力はある

情報の入口や出口になる文字認識には困難があるものの、言葉や文章の内容そのものは理解できます。

以上のディスレクシアにかかる特徴を踏まえ、ディスレクシアやその疑いのある子どもには、文字による困難さを軽減する支援が効果的であると考えられます。

(4) 留意点

ディスレクシアは、先天的な脳の機能の問題といわれています。子どもにできてほしいという気持ちがあるからこそ教師は叱咤激励したり、書き取りなどの課題を増やしたりします。しかし、「読み書き」に苦戦する子どもたちにとってはそのことが困難の解決にならないばかりか、学習に対する苦手意識を助長し、自尊感情を損なってしまうことにもなりかねません。

「読み書き」に困難を感じる子どもは外見では分かりにくいので、支援の対象となりにくい傾向にあります。子どもの感じる困り感への適切な気付きとアセスメントが重要となります。

2 周囲の気付きとアセスメント

■ 1 周囲の気付き

ひらがな、カタカナ、漢字、ローマ字、英語、と習う文字（言語）が増える中で、その時々で困難があるのかどうかを見る必要があります。

医師の診断には時間がかかるため、教育の場では診断のあるなしにかかわらず対応することが求められます。

各段階で自然な形で速やかに子どもの困難に気付き、合理的配慮を行うことで、子どもも本来の力を発揮できる可能性が高まります。以下、発達段階に応じた気付きの手がかりを示します。

(1) 幼年期の例

- 言葉の発達が遅い。
- 発音がうまくできない。
- 絵本の読み聞かせをすると内容は分かるが、自分から絵本を手にとることはしない。
- 線が描けない。
- 丸や三角が閉じない。

(2) 小学校低学年の例

- ひらがな、カタカナの音と文字が合致しない。
- 「ね」と「ぬ」など似た文字を間違える。
- 「い」と「こ」のように角度を間違える。
- 拗音、促音を正確に読めない。
- 書くときに鏡文字がみられる。
- 文字の形がばらつく。

(3) 小学校中学年の例

- 音読がたどたどしい。不適切な場所で区切る。
- 音読を嫌がる。
- ローマ字が覚えられない。
- 漢字テストの結果が極端に悪い。
- 板書や連絡帳への記載がうまくいかない。

(4) 小学校高学年の例

- 漢字の熟語がうまく読めない。
- 文章を読むのに時間がかかる。
- 作文を書いても短かったり、内容が表面的だったりする。

(5) 中学校の例

- 日本語は問題ないが、英語が極端に苦手である。
- 古文や漢文が苦手である。
- 長文読解問題で時間が間に合わない。
- 記述式では短文だけで答える。

■ 2 アセスメント

(1) その必要性

子どもの状況を観察し、読みや書きの困難が、どの部分でどの程度なのかを知ることで、どのような配慮が合理的かを判断するためにアセスメントが必要です。

(2) 具体的手法

読みと書きのスピードと流暢性、正確さを測って、同年代の平均と比較してどの程度の困難があるのかを見ます。そのさい、音韻認識、処理速度、視覚認知のどこに問題があるのかを見ます。ECL（図書文化社刊）等数種類の検査があります。

(3) 合理的配慮へのつなぎ

「障がい」かどうかの専門的な診断や検査をする前に、現場の工夫によって困難の軽減をすることはできます。見やすさ、内容の理解のしやすさ、書きやすさなどについて、子どもにいくつかの解決法を体験してもらい、どれが一番本人にとって心地よいか、取り掛かりやすそうかを見ることも大切です。

3 合理的配慮

■ 1 定義

障がい者権利条約の英語版では、合理的配慮をreasonable accommodationと表記しています。「理にかなった便宜（あるいは助け、調節）」というイメージを持ち、環境や教材、課題、試験等での「変更および調整」として合理的配慮をとらえ、具体的な方策を検討します。

■ 2 留意点～「配慮」を「合理的」なものに

どんなにその「配慮」が合理的に見えても、子ども本人の特性に合致していなければ、ただの負荷に変わってしまいますので、以下の2点に留意します。

- その対応をすることで効果が見られること
- 一人一人個別のニーズに応えること

■ 3 合理的配慮の実例

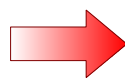
(1) 基礎的環境整備 ～発達障害に共通する「刺激に過敏」な特性に配慮する

- 黒板周りの掲示物を精選する。
- 座席に配慮し、壁の掲示物、窓の外の風景、壁の色や材質等による過剰な刺激を軽減する。

(2) 読みやすく

- レイアウトを調整する。（横書き／縦書き、文字のサイズ、行間）
- 文節で区切る。（分かち書き、斜線）

きょうはてんきがいいので
そとでたいいくをします。



きょうは / てんきが / いいので
そとで / たいいくを / します。

- 意味の塊や段落ごとに1行空ける。
- 紙の質や色を変更・調整する。（色つき透明シートでも変更可能）
- 文字の色を変更・調整する。

- プリントを作成するときには、認識しやすく、実際に筆記する形と近い形のフォントを選択する。

ちよつと通りますよ

<MS明朝>しんにょうの形、「り」の形が実際に筆記する形と違う。

ちよつと通りますよ

<MSPゴシック>しんにょうの形が実際に筆記する形と違う。

ちよつと通りますよ

<HG教科書体>おおむね筆記する形と同じ。

ちよつと通りますよ

<UDデジタル教科書体N-R>ユニバーサルデザインで設計されたフォント。

I like English and Japanese.

<Times New Roman>「a」や「g」の形がブロック体と異なる。

I like English and Japanese.

<MSPゴシック>「a」や「g」の形がブロック体と異なる。

I like English and Japanese.

<Century Gothic>「a」や「g」の形はブロック体とおおむね同じだが大文字の「I」と小文字の「l」がほぼ同じ形。アルファベットの幅や字間の間隔にばらつきが大きい。

I like English and Japanese.

<UDデジタル教科書体N-R>ユニバーサルデザインで設計されたフォント。

(3) 理解しやすく

- 音声で読み上げる

「通常学級の児童600人のうち、2割程度が音声で聞いたときのほうが集中でき、記憶に残り、小テストの点数が20%以上伸びた」との調査結果もあります。読み上げの方法としては教師や支援員、保護者が読み上げたり、学習者用デジタル教科書や音声教材の読み上げ機能を使用することが考えられます。学習者用デジタル教科書は、紙の教科書と違って無償給与の対象ではありませんが、紙の教科書と同様の内容を収録し、読み上げ機能や文字の調整機能等が備えられて

います。音声教材は各種ボランティア団体が作成しており、希望者に対して無償で提供されます。詳細は下記のウェブページも参考にしてください。

- ◎ 「学習者用デジタル教材ガイドブック」(一般社団法人教科書協会)
<http://www.textbook.or.jp/publications/data/191030dtbguide.pdf>
- ◎ 「音声教材の概要」(文部科学省)
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/_icsFiles/afieldfile/2019/05/28/1374019_001_2.pdf

(4) 文字を覚えやすく、想起しやすく

効果があることが分かっている具体例には以下のものがあります。

- 漢字のパーツの名称を決め、言語化して覚える。
- 意味に近い絵文字を作る。
- 物語にする。(草が化けて花になった など)
- 厚紙でパーツを作り、色を塗って組み合わせる。
- 粘土で言葉の意味と文字を立体で作る。
- 体の形で文字を作る。

また、言葉では出てきても、その言葉にどの文字を当てはめたらよいか正確でなかったり、思い浮かばなかったりします。その手立てとして、下記のような合理的配慮を行うのはいかがでしょうか。

- 書かせる代わりに覚えたときの方法で出力させる。
- 文字を思い出すヒントを用意する。(辞書やICT)

(5) 学習課題の提示や評価方法にも配慮を

学習課題を調整することは合理的配慮として有効です。漢字や英単語を何百回も書かせて手続き記憶を形成させることは、「読み書き」に困難を抱える本人にとって徒労に終わり、苦行でしかありません。本人の選んだ方法で表現できるような課題を検討することが大切です。テスト等で評価する際も以下のような合理的配慮を検討したいものです。英国では、合理的配慮としてディスレクシアの生徒のスペルや文法のミスは意図が通じれば可とするなど寛容な対応をすることです。

- 正しい文字や表現を選択させる。

※ 「正しく書ける」の前段階で、「正しく覚えている」評価をすることで、本人の苦手意識を軽減できる。

- 漢字テストでなければ平仮名も可とする。
- 口頭試問に代える。
- 選択式にする。

(6) 書きやすく

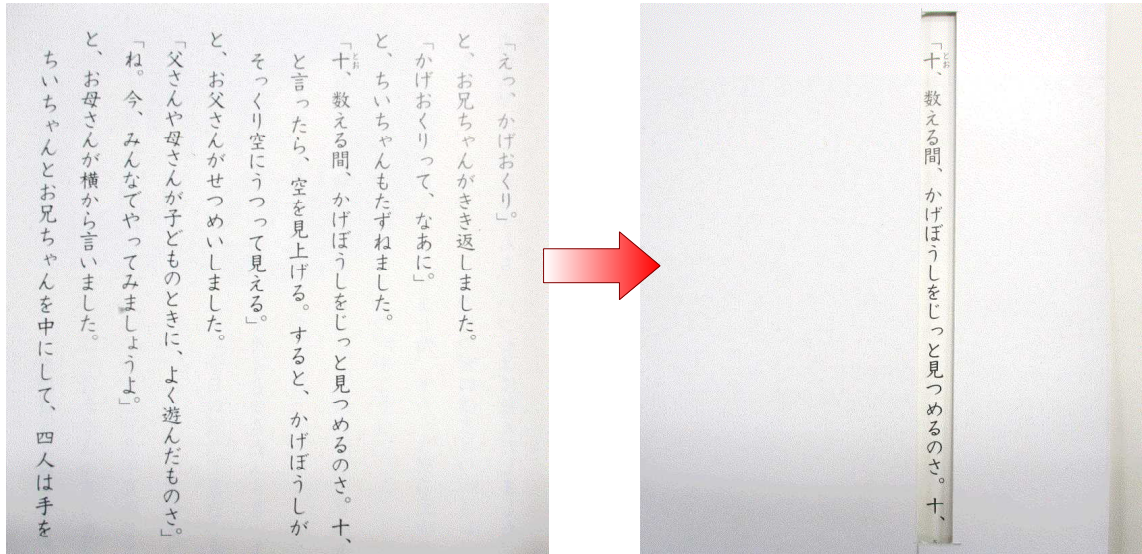
なぞること、書き写すことにも困難の要因が潜んでいます。作業記憶の容量が低い場合、一文字ずつ確かめながら書き写しているうちに、どこまで書いたか見失ってしまうので、書き飛ばし等がおきます。そうした困難を取り除くためには、下記のような配慮ができます。これらは必ずしもディスレクシアの子どものためだけでなく、全ての子どもにとって有益であるとも考えられます。

① なぞるとき

- 凹凸感のある紙や持ちやすい筆記用具を使う。
- 紙の代わりにタブレット端末を使う。

② 手元の字を書き写すとき

- スリットの入った厚紙で書き写す部分を限定する。



- 書く量を調整する。

③ 板書を書き写すとき

作業記憶の容量に問題なく、音韻意識に困難がある子どもは、目で見たものをそのまま写せますが、意味が伴っていない可能性があり注意が必要です。作業記憶も音韻意識も困難のある子どもに対しては、合理的配慮を検討します。

- 板書の量や内容を精選する。
- 板書内容をプリントにして渡す。
- 支援員が読み上げるなどして板書の補助をする。
- 板書をカメラで写して記録とする。

4 おわりに

学級にいる文字の読み書きに困難を抱える子ども…
その困難を少しでも和らげる方法はないでしょうか？
困難を抱える子どもがディスレクシアかどうかは大切ではありません。
その子どもへの合理的配慮をもって、子どもに適した学び方を保障していけば、
一人一人の個に応じた自己実現につながっていくものと考えます。

参考文献

時事通信社『内外教育』連載『ディスレクシアと合理的配慮』

平成30年4月3日号、4月20日号、5月15日号、5月22日号、6月12日号、
6月26日号、7月10日号、8月10日号、8月28日号、9月18日号